

所属・氏名（薬学部薬学科 氏名：井口 裕介）

著書、学術論文等の名称	単著 共著 の別	発行又は発表 の年月	発行所、発表雑誌 等又は発表学会等 の名称	概 要
1 (学術論文)《筆頭論文》 Effects of chemical modification of ursodeoxycholic acid on TGR5 activation.	共著	2011	J. Pharm. Bull.	論文全体及び担当部分の概要:ウルソデオキシ コール酸誘導体の FXR、及び TGR5 活性化能を 検討 (当該論文のページ数: 7) 著者名: Iguchi Y., Nishimaki-Mogami T., Yamaguchi M., Teraoka F., Kaneko T. and Une M.
2 (学術論文)《筆頭論文》 Bile alcohols function as the ligands of membrane-type bile acid-activated G protein-coupled receptor.	共著	2010	J. Lipid Res.	論文全体及び担当部分の概要:胆汁アルコール のTGR5アゴニスト活性を検討 (当該論文のページ数: 10 ページ) 著者名: Iguchi Y., Yamaguchi M., Sato H., Kihira K., Nishimaki-Mogami T. and Une M.
3 (学術論文)《筆頭論文》 Structure-activity relationship of bile alcohols as human farnesoid X receptor agonist.	共著	2010	Steroids	論文全体及び担当部分の概要:胆汁アルコール のFXRアゴニスト活性について検討するととも に、FXR支配下遺伝子への影響についても検討 (当該論文のページ数:6 ページ) 著者名: Iguchi Y., Kihira K., Nishimaki-Mogami T. and Une M.
4 (報告・発表) 胆汁酸のムスカリン受容体に 対する作用		2012.12	胆汁酸研究会	発表内容の概要:胆汁酸のムスカリン受容体に 対する作用について検討
5 (報告・発表) リトコール酸誘導体のムスカリ ン受容体に対する作用		2013.3	日本薬学会	発表内容の概要:リトコール酸及びそれら誘導体 のムスカリン受容体に対する作用について検討